



日刊 日曜日 月曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日 月曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日

内務省土木局の工業用水状況調査

石城郡下廿二ヶ工場に對し
用水量及び水質の要求等

内務省に於ける河水統制計画は既報の如く目下土木監督官の所管下に對して工業用水の調査中であるが調査の趣旨目的は工場擴張及び増加に伴ふ工業用水の將來に於ける必要水量を推定せんが爲め既往及び現在の使用水量を調査し工場増加並びに擴張と工業用水需要との關係及び工業種類に伴ふ水量要求等を知らうとするものであるが現在工場分布状態を一水系毎に調査されるものであるが大体来る二十日頃までに右調査が取纏まるものと如く關係工場は石城郡内で二十二ヶ工場であると

櫻花期の賣店入札

平公園の櫻花期に於ける園内賣店は位置及び料金前年と大差なく希望者の入札を来る二十日から二十八日まで市役所に於て取扱ふ

負傷兵から

石城郡新輪村の高野高毅末枝君は昨年一月現役から今事變出征したが名譽の負傷を受け目下内地の病院に療養中である自らを自覚し働きの

銃後へ寄付

石城郡新輪村の高野高毅末枝君は昨年一月現役から今事變出征したが名譽の負傷を受け目下内地の病院に療養中である自らを自覚し働きの

納豆賣で、献金

石城郡新輪村第一小學校四年生末松孫高秋務君(三)は先生から今事變の話を聞いて奮起し昨年十二月から毎日毎朝納豆賣をなして得たる純益一圓五十錢の他兵隊金を校長に寄託した

湯本信組低利資

石城郡湯本町信用組合では去生徒一同の奉仕作業により輕機關銃を購入する計画を立てたが同村計六氏は右に對し辛

築立つ百九十二名 磐女の第廿六回卒業式

- 子 織田芳枝(平) 小野不二(平) 小野まさ子(海) 菅野文子(平) 今田操(同) 齊藤淑子(同) 佐藤とよ子(好) 間佐謙二(同) 四倉柴田ちよ(小) 濱下島きよ子(平) 菅根美江子(四) 鈴木ちよ(平) 鈴木よし(湯) 関口君子(久) 高瀬ゆき(平) 高田あき(同) 瀧野美子(静) 田代穂枝(平) 根本くら(同) 馬場とし(同) 松本秀子(同) 馬目もと(同) 宗像み(同) 四倉村山ゆき(好) 森山文子(平) 横田きえ(四) 吉田淑子(平) 渡邊岩子(草) 渡邊民江(平) 和田多美子(同)
- 回校友會功勞荒木友子(平) 飯

常識講座

デモンストレーションは示威運動の事、元は軍用語で攻勢の意を表す事、率制運動の意だつたが今は無階級の一戦術、集團的威力で資本階級に對抗する示威運動の意に使用

戦地へ喜ぶ第一線から

阿部りよ 安龍とみ 安藤千枝 猪狩静子 石井増子 伊藤泰子 今井とめ 江尻くみ子 江尻裕子 遠藤ちよ子 大高貞子 大平やす子 小野明子 小野深子 小野光子 加藤あき 片岡久栄 金田勝子 加美山みや 川又よし 木田たか 草野貞子 草野哲子 草野花子 鯨岡あい 久保年 小林なを 駒木根敬子 合津のお坂本あゝ 坂本しげ 佐々木繁子 佐藤すみ 佐藤伸 佐藤みゆき 里見壽 四家綱子 柴田喜美子 鈴木さち子 鈴木延枝 砂田廣

また警備隊へ

日の丸、鐵兜は引きも切らず路上戦艦万丈皇軍の意氣天を衝くの概これあり候、斯くして機轉、嘉興、平望鎮、南鄭鎮等に一泊の後〇〇日夕刻當方面の要地たる湖州に到着、次の命令を待機中〇〇月〇日〇〇へ前進すべしとの命令に接し愈々第一線に參加されること、將兵の意氣正に軒昂〇〇日未明、月明を利用して出發し候、途中長興、〇〇廣徳等に一泊なし十字市に向つて前進十字市に到着せし刹那命令再び發せられて〇〇部隊は直ちに廣徳に引返し警備につくべしと翌日不本意ながら廣徳に引返し警備につくし候、如斯くして上海に上陸したる後備隊は〇〇個隊なりしが各隊共頻りに異動せし模様にて御座候、昭和十三年正月の三ヶ日に思ひ出深き廣徳城南端にて過し申候、明けて正月

産駒品評會

石城産馬組合主催の第三回産駒品評會は既報の如く去る十四日澤渡村の中寺市場に於て開かれた出陣頭數六十四頭で以上記の優良馬を賞與した▲一等三坂佐藤三郎 永戸水野勝助 ▲二等澤渡田子 藤石京 永戸粟谷庸一 ▲三等澤渡草野儀助 同阿部増

果樹栽培講演

石城郡内郷村の果樹組合では来る二十一日午前十時から同村一の矢天王神社拜殿に栽培講演會を催されるが講師は信達分寫長岩垣技師である

平署ガソ巡査

更生省のガソ巡査で各警署に配置されるガソ巡査長署の初任に佐藤今朝雄巡査任命される

石城中堅農民講習

石城郡農會の中堅農民講習會は来る二十一日午前十時から修得證書授與式を舉行されるが今回の講習終了者は男七〇、女八の七八名で精勤賞を授與されるもの男三五、女七名である

コツクの盗み

石城郡勿來町の源助町料理店北條りさ方コツク相馬郡原町生れ鎌田初幸(三)は昨年五月頃から六月まで小名濱町カフエーりさ方方に被服中寶溜金二十圓を窃取し其の後平市宇田町カフエー平會館方に住み

同僚から時計泥

石城郡澤渡村下市街生れ當時同郡好間村上好間字小館田中忠寛方同僚澤渡儀夫能谷正(三)は去る三月十一日午後七時頃同僚佐藤榮藏が作業場に掛けて置いた上着のポケットから腕時計一個を窃取し平署に檢舉された

ナ、の女給逃走

平市市南町カフエーナ、事太田やす方女給鈴木静枝(三)は去る十四日朝情夫である市内某自動車業方運轉手花積武男(三)と手を携へ前借九十四圓を踏倒して逃走したが飯坂方面へ向いた形跡があると

結成準備協議會

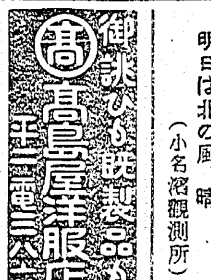
来る二十日午前九時結成式を舉げられる石城郡湯本町國防婦人會では去る十六日、役場に各婦人團體幹部會をして準備協議會をなす

改名根本品藏

今般亡父の名を襲ひ品藏を改名仕候間先代同様格別の御交誼御引立を賜度此段以紙上御挨拶申上候 敬具

天候豫報

今晩は北西の風、晴明日は北の風、晴(小名濱觀測所)



三陸鮑の冷凍

遂に成功した

貿易商に叩かれぬ
三陸鮑の安全輸送
三陸鮑の販路を開拓する目的で試験に着手した鮑の活魚船による輸送に成功が見られるとすれば、

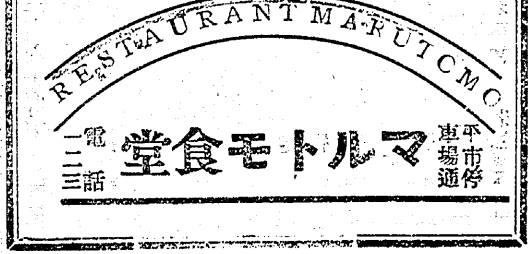
従来は岩手縣の如く干鮑にのみ力を入れた製造の關係上、毎年十一月から翌年の二月までの鮑採捕制限を過年採捕に變更して近海のものみにて中央市場に於ける活鮑の最も高い夏季にドンドン三陸の活鮑を輸送することも出来るので對支貿易の影響による干鮑の値下りの不安も解消されこれまで三陸鮑の健全なる取引が出来たわけである。

結局に於て三陸鮑は對支貿易の高潮にある場合は干鮑製造に限るが今年のやうに事變發生によつて輸出が杜絶したやうな場合、その他對支貿易の不振に悩まされるやうな場合に際して斯うした内地消費の販路を開拓して置くことは漁民のため必須の問題であつたが、今回の支那事變によつて此の工夫を完成されたものであるから事變の影響は三陸の當業に一時は有難くないものであつたやうなもの、岩手縣古川町鮑漁業協同組合と日本水産會社同地工場に新工夫を施したものは今次の支那事變である、新方法的の完成には前記漁業協同組合長の佐々木三枝氏ほか組合幹部の努力は生産者のため大した犠牲を得られて三陸鮑の將來に不安を除かれた

日	月	火	水	木	金	土	日
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目

特にマルトモのランチは...
材料のおまかせを願つて居る為め其の飾りの美しい新鮮な物を御進め出来ませので御座客様からいつも御好評を蒙り居ります。

御来店御召上りの時も御來客様用仕出し等就べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節飾りの材料で美味快適なものを調理進上出来ませので之をた非常に御好評を御座います。



牛も豚も優良品の自慢

肉の御用命は 三三三屋 平市田町

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局

平市新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

根本 婦人科醫院
平市南町
根本庄次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

待チニ待ツタ學校へ...
嬉シイ新入學
可愛ラシイオ子様方へ
學生靴ト學生帽子ヲ
ランドセル、大特價奉仕品番 No.213 ¥2.00
ツルヤ
電話一四〇

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

平市田町 電話五二三番

食 事。
喫 茶。
酒場を兼ねた。
サロシ
町田平 二五三電

生徒募集
願書受付...三月二十日迄
1 本 科(二ヶ年卒業) 一年百五十名
2 裁縫専修科(二ヶ年卒業) 一年一百名
3 師 範 科(一ヶ年卒業) 一 十 名
4 專 攻 科(一ヶ年卒業) 三 十 名
5 本科裁縫専修科(一年制) 若干名
6 「附設」洋裁科(六ヶ月修了) 若干名

【詳細は學則請求のこと】
文部大臣 藤田女學校
平市田町 (電話三三八番)

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 北川外科
診察 (血液検査毎日)
イツテモ
入院デキマス
醫師博士 北川芳夫
技 師 三浦常保
平市新川町二七(電話四六四)

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
平市田町十八(西村屋横町)

日下家政婦會
會長 日下すい子
電話七二三番

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜
九九・九電

平病院 (平市元共濟病院跡)
電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 醫學士 鈴木定藏

内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
外科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
レントゲン科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 鈴木定藏
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限にあらす)